



ほ、元み

《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
1. 私達は自分の力で伸びて行こう
1. 私達は私達の規則を尊重しよう



《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
1. 優しさ思いやりを大切に心のごもった公平な医療をいたします

9月1日は「防災の日」です。
1923（大正12）年のこの日、関東大震災が起こりました。その大惨事を忘れないために、また例年8月31日～9月1日付近は、台風の襲来が多いとされる二十十日にあたり、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められ、1960（昭和35）年に制定されたそうです。

我が国では、毎年のように地震、台風、集中豪雨などの自然災害が発生し、各地で多くの被害が出ています。平成7年に発生した阪神・淡路大震災や平成16年の新潟県中越地震は、災害の怖さと多くの教訓を残しました。

愛媛県は温暖な気候に恵まれ、自然災害の比較的に少ない地域です。しかし、平成13年には芸予地震に



『防災の日について』

看護部長 八木やよい

より震度5強の揺れを記録し、また、平成16年には瀬戸内海側を中心に甚大な台風被害に見舞われました。新居浜市も被災地となり、災害をより身近なものとして意識することになりました。そして平成23年の東日本大震災は、津波や原発事故等により未曾有の大災害となり、今もなお、仮設住宅での生活を強いられるなど、精神的・経済的にも多くの問題を抱えている状況です。

今後も、東海地震、南海地震、首都直下地震などの大規模地震発生への切迫性が指摘されています。このような状況の下、被害を最小限に抑えるためには、私たち一人ひとりが災害に対する正しい知識を身につけ、いざという時に落ち着いて的確な行動をとることが重要です。そのためには、被害想定に基づいた避難訓練、初期消火、応急救護、地震体験などの訓練に積極的に参加することが効果的です。特に、いつ起こるか分からない地震に対する備えは、常日頃からの防災訓練などによって培われるものと言えます。

当院においても年一回地震・火災を想定した防災訓練を行っています。今年も震度6弱の南海トラフ地震とそれに伴う火災を想定した消火・避難訓練が行われました。

災害時には医療機関も混乱をきたすことが予想されます。災害時の制約された条件下でひとりでも多くの傷病者に対して最善の治療を行うためには、病気や怪我の緊急度や重症度によって治療や搬送の優先順位を決めること（トリアージ）が必要になります。

※記事は2ページへ続きます。

救命の可能性が非常に低い者よりも、可能性の高い者から順に救護、搬送、治療にあたるべきであるという考え方です。(表1)

(表1)

順位	分類	識別色	傷病等の状態
第1	最優先治療群 (重症群)	赤色 (I)	● 直ちに処置を行えば、救命が可能な者
第2	非緊急治療群 (中等症群)	黄色 (II)	● 多少治療の時間が遅れても生命には危険がない者 ● 基本的には、バイタルサインが安定している者
第3	軽処置群 (軽症群)	緑色 (III)	● 上記以外の軽易な傷病で、ほとんど専門医の治療を必要としない者
第4	不処置群 (死亡群)	黒色 (0)	● 既に死亡している者または直ちに処置を行っても明らかに救命が不可能な者

搬送・救命処置の優先順位はI→II→IIIとなり、0は搬送・救命処置が原則行われぬ。

このようなトリアージの意義を理解し、診療に協力していただくことがスムーズな医療活動に繋がります。

大規模な防災訓練でなくても、防災の日をきっかけに周りの人と「トリアージのルール」や「ライフラインが使えなくなったらどうするか」等シミュレーションしてみたいかがでしょうか？

『第1回 十全総合病院ICLSコース』を開催しました。

ICLS実行委員会 高橋 知子



7月21日(日)、第1回十全総合病院ICLSを開催しました。

ICLSとは「突然の心停止に対する最初の1分間の対応と適切なチーム蘇生を習得すること」を目標としたコースです。

心停止はどの医療機関のどの部署においても起こりうるものでいったん発生すれば蘇生を開始するまで少しの猶予もありません。心停止後の蘇生には、あらゆる医療者がチームの一員として参加し、蘇生を行うことが求められています。

そう言われるととても難しく厳しいコースだと思われるかもしれませんが、体を動かして楽しく知識・技術を習得しようという考えのもとコース運営を行っています。

今回、コースディレクター湖城医師の呼びかけにより、市内4病院+新居浜消防のご協力の元、無事コースを終了することができました。

今後も継続していけるよう頑張りますのでよろしくをお願いします。



防災訓練

総務課
浮橋 裕一

いつ何時に襲ってくるか分からない大地震。もし大規模災害が発生した際、病院には在院患者さまの安全確保や、被災により受傷された方々を受け入れるための医療機能の維持、収容スペースの確保といった大きな役割があります。また県により災害拠点病院が地域ごとに指定されていますが、実際に災害が発生してしまうと拠点病院だけでは対応できない可能性があり、地域の災害医療として考えた場合、その地域内の医療機関が連携を取りながら対応していく必要があります。

このような使命を十分に発揮するためには、日頃から防災訓練を通じて組織として、また個々としての防災行動力を高めてまさかの時に備えなければなりません。

当院においては、年1回の総合防災訓練と、年5回の避難消火訓練を実施しています。今年度の総合防災訓練は、7月8日(月)に消防署と合同で行いました。訓練内容は大地震が発生したとの想定で、対策本部を設置して指揮系統を確立させ、院内での負傷者の救助や患者避難誘導、初期消火訓練を行いました。

今回の訓練は無事に終わることができましたが、訓練で浮かび上がった問題点を解決して、防災マニュアルの見直しや、今後の訓練内容の充実を図っていきたいと思います。この先災害が起きないことを願いつつも、いざ起きてしまった時には、迅速な対応が取れる体制づくりや、最低限のライフラインと物資で可能な限り地域の医療機能が維持できるよう、これからも訓練を重ねて災害に強い病院を目指していきます。



＊ 糖尿病教室について ＊

毎週水曜日午後2時～、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士などによる糖尿病教室を開催しています。

7月10日は『夏の食べ物・飲み物』のテーマで講義・試食を行いました。参加者にご好評だった低カロリーの料理「彩り野菜の黒こしょうと醤油炒め」と「レモンスカッシュゼリー」のレシピを紹介しします。これからも、スタッフ一同、患者さまに喜ばれる糖尿病教室を開催してきたいと思ひます。どなたでもお気軽にご参加ください。

＊《 彩り野菜の黒こしょうと醤油炒め 》

1食分=61kcal 塩分0.3g

【材料 1食分】

きゅうり	30g	A	パルスイート	1g
なす	30g		酒	3g
赤ピーマン	30g		酢	2g
黄ピーマン	30g		醤油	2g
白ねぎ	30g		黒こしょう	少々
サラダ油	1g		ごま油	1g

【作り方】

- ①きゅうり・なす・赤ピーマン・黄ピーマン・白ねぎは、大きさをそろえ短冊に切ります。
- ②Aの調味料を合わせておきます。
- ③①を炒め、②で味付けし、最後にごま油で香り付けします。

※アスパラ・人参・たまねぎ・オクラなど他の野菜に変えても良いです。
※醤油、黒こしょうの代わりに、みそ3gで味付けしてもおいしいです。



＊《 レモンスカッシュゼリー 》 1食分=17kcal

【材料 10食分】

かんてんクック	1袋 (4g)
水	270cc
炭酸水	270cc
パルスイート	40g
レモン	大5個 (絞った果汁60ccを使う)
ミントの葉	少々
果物	少々



【作り方】

- ①レモンは横半分になり、底になる方も少し切って安定をよくします。レモンの皮を傷つけないように、中身を取り出して器を作ります。中身はふきんで包み、果汁を絞ります。
- ②鍋に水とかんてんクックを入れて火にかけ、かき混ぜながら煮溶かします。2分くらい沸騰させ、パルスイートを加え溶かします。
- ③火からおろし少し冷めてから(50～60℃)、果汁60cc、炭酸水を加え混ぜ、①の器に流し入れ、冷やし固めます。
- ④ミントと果物を盛り合わせます。

※ゼリー液が余れば、器で冷やし固めましょう。
※余ったレモン果汁は他の料理に使用しましょう。



糖尿病教室のお知らせ

これだけは知っておこう、糖尿病!

日時 毎週水曜日 午後2時～

場所 外来棟3階 カンファレンスルーム



外来棟3階のご案内図

食事、運動、薬について普段疑問に思っていることはありませんか？
ぜひこの機会に解決してみてもいいかも！
新しい発見があるかも！

開催日	内 容
9/4(水)	糖尿病ってどんな病気? 担当:内科医師、看護師
9/11(水)	食事療法はどうしたらいいの? 担当:管理栄養士、看護師
9/18(水)	運動療法はどうしたらいいの? 担当:理学療法士、薬剤師
9/25(水)	薬の種類を教えてください! 糖尿病の検査について 担当:薬剤師、臨床検査技師



●どなたでもお気軽にご参加ください。
お申し込みは不要です。

※都合により内容が変更になる場合があります。

「メディカルサマースクール 2013 in 十全」開催

MSS実行委員会 荒井 泰輔

新居浜市でも医師不足、医師の高齢化が問題となっており、一人でも多くの若者が地域医療を担う医師を目指すきっかけになればと、当院にて8月10日(土)、新居浜市内の中・高生を対象に最前線の医療を模擬体験できるメディカルサマースクールを企画、実施しました。

医療の仕事に興味をもってもらえるよう楽しい体験にしようと、ボランティアスタッフ皆でアイデアを出し合い時間外等を利用し準備しました。当日は24名の市内の生徒さんが参加され、実行委員長の整形外科医長 松尾真嗣医師を中心に、医師・看護師・技術職・事務職・新居浜市消防本部救急救命士・製薬会社や医療材料を扱うMR(医療情報担当者)の総勢約70名のサポート体制で、生徒さんたちに様々な模擬体験をおこなっていただきました。

生徒さんたちは午前中、新居浜市消防署員による救命救急搬送の現場を模擬再現したアトラクションを見学。その後3つの班にわかれて、人体模型を使った気管挿管と心肺蘇生の模擬体験、超音波診断装置を使つての模擬検査の実施、実際のMRI画像を使つての画像診断の模擬練習をそれぞれ順番に体験しました。午後は、手術着を着用し実際の手術室で5班に分かれ、手術の模擬体験を実施しました。



◀救命救急搬送
模擬再現



▼気管挿管



▲手術着体験



▼縫合体験

①摘出・縫合コーナーでは

脳神経外科医師や耳鼻咽喉科医師にメスやピンセットの使い方を教わり、人体と異物に見立てた鶏の胸肉とその内部に埋め込まれたビーズを摘出する手術を模擬体験しました。縫合も実際の手術に使われる針と糸と器具を使用して血管外科医師や眼科医師から指導を受けました。



▲骨接合体験

②人工関節・骨接合コーナーでは

整形外科医師より人体模型と実際の手術道具を使用して人工関節の取り付けや骨折時の接合手術の仕方を教わり、おそろおそろ手術用のドリルやノコを扱っていました。

③内視鏡手術コーナーでは

外科医師指導のもと、鶏の胸肉を実際の電気メスを操作して切断、内視鏡下で行う手技をシュミレーターを使用して教わり、モニターを見ながら内視鏡下手術の模擬体験をおこないました。



▲内視鏡体験

未来の
医師認定証



メディカルサマースクール2013
in 十全総合病院



それぞれのコーナーを交代に体験したあと、最後の修了式にて実行委員長より、一人一人に「未来の医師認定証」が手渡されメディカルサマースクールを終えました。

参加された生徒さんたちには、それぞれ感じていただけたものがあったと思います。スクール最後に書いていただいたアンケートの意見欄には「また参加したい」という声が多数あり、主催した側も喜びひとしおです。当初は地域医療の担い手の育成や、生徒さんの進路選択の一助になればと思い「当院を一日夢がかなう場所ディズニーランドに」をスローガンにして地域の方々に親しみを持ってもらおうとボランティアにて企画しましたが、このメディカルサマースクールを行ったことにより、今医療機関でもっとも重要視されている他職種が共同して取り組む「チーム医療」がいつのまにか充実、醸成されたことが一番の収穫となった一日となりました。

院外医療講演の報告

『介護予防を考える』 ～日頃から気をつけたい体力年齢の 低下に注意しよう～

7月9日(火)午後1時30分より、若宮公民館にて、理学療法科技師長 伊藤雄規による院外医療講演を開催しました。

対象は地区の高齢者で、受講者は17名でした。講演内容は、Q&A方式で受講者の方々も熱心に聞き入っておられました。後半には受講者全員でストレッチ体操を行う等の実技指導も行いました。



『認知症予防について』 ～リハレクしましょう～

7月18日(木)午後2時より、住友化学体育館にて、作業療法科主任 曾我部有司による院外医療講演を開催しました。対象は住友化学定年退職者で、受講者は46名でした。

講演は、頭と体を使う内容で実施され、両手じゃんけんや動物のイラストを用いた神経衰弱、ホワイトボードに書いた絵から対象を連想するゲームなどを行いました。また昔の遊びを思い出していただくために、受講者自ら紙風船を膨らませてもらったり、終始、笑顔が見られる講演となりました。



『家庭でできる感染予防』

7月9日(火)午後2時より、新居浜市高齢者生きがい創造学園において、感染管理認定看護師 宮内雅文による院外医療講演を開催しました。対象は高齢者で、受講者は51名でした。

講演は、

- 感染とは、病原体が人の体内へ侵入→増殖→人への感染を繰り返すこと。
- 人から人への経路を断つことにより感染拡大を防止できる。
- 手洗い、マスク着用が基本的な感染防止対策。
- 他人にうつさない気配りを。

など、スライドを駆使し、わかりやすく説明しました。

講演終了後、受講者からは活発な質疑応答があり、感染防止対策への関心の高さがうかがえました。



『女性のためのメンタルヘルス』 ～女性を守る・女性が守る心の健康～

8月1日(木)午後3時より、別子銅山記念図書館にて、当院非常勤医師(十全第二病院 精神科専門医) 太田恵理子先生による健康講座を開催しました。一般の方を対象に62名の参加がありました。

ストレス社会と言われ、心の健康への関心も高まっている現代、女性が抱えるストレスの要因・慢性ストレスから起こるうつ病の初期症状などがわかりやすく説明されました。また、“ストレスと上手につき合う10のポイント”の中で、他人と過去に目を向けない(自分と未来は変えられる)ということが参加者の共感を得たようです。

憂鬱、やる気が起きない、食欲が無い、などの症状が2週間以上続く場合はうつ病の初期症状が考えられるので、早めの受診を!と強く言われていました。

“ストレスと上手につき合う10のポイント”

- ① 心に栄養を与える
- ② 良質の睡眠をとる
- ③ 友人や相談相手を持つ
- ④ 目標を持つ
- ⑤ 休養をとる
- ⑥ 食事をエサとせず
- ⑦ リフレッシュ体操
- ⑧ 運動習慣を持つ
- ⑨ 楽しく働く
- ⑩ 他人と過去に目を向けない



十全看護専門学校

先着30名 要予約

オープンキャンパス開催

日時 平成25年 9月21日(土) 9時30分～14時

十全看護専門学校の受験を考えている方へ

学校を選ぶ時は、学習内容・行事・学校生活など、実際に自分の目や耳で確かめることが大切です。学校の説明や進学後の相談、先輩との看護演習や意見交換を行います。

在校生の生の声やアドバイスを聞けるチャンスです。

場所／十全看護専門学校

内容／●看護技術の演習

- 十全総合病院の見学・看護体験
- 在校生とランチ&フリートーク(ランチは学校で準備します)



申込
期限

参加希望の方はお電話でお申し込みください。

平成25年9月13日(金) 保護者・高校の先生も同伴可能です。

昨年のオープンキャンパスの様子はコチラ

十全看護専門学校

検索



お申し込み先 **(0897) 33-1723** (月～金/9時～17時)

十全看護専門学校 愛媛県新居浜市北新町2-77

愛媛十全医療学院 オープンキャンパス開催

全日程：12時～受付 / 13時～開始

I 理学療法学科 作業療法学科 講義体験

〈日程〉9月7日(土)

オープンキャンパス限定のオリジナル授業を行います。普段の講義に近い内容で、分かりやすく楽しみながら、講義+実技を体験していただきます。

II 言語聴覚学科

※4年生大学卒業生対象2年課程

〈日程〉9月7日(土)

実質2年という短い課程のなかで、勉強や生活面で工夫している事柄など、先輩の経験や入学前の重要ポイントを在校生交流でしっかりチェックしてください。ST学科オリジナルのオープンキャンパスを行います。

参加の
お申し込みは

学院ホームページ/携帯サイト/TELにてご予約ください。

住所 〒791-0385 愛媛県東温市南方561 TEL 089-966-4573

URL <http://www.esm-juzen.ac.jp> 携帯 <http://www.esm-juzen.ac.jp/k/>

「なかよし園」休園のお知らせ

大変ご迷惑をおかけいたします。

都合により、病児・病後児保育「なかよし園」は9月2日(月)よりしばらくの間、休園させていただきます。

募集

看護師・助産師



●院内保育・時差制勤務等あり！
●お気軽にご相談ください。

看護師寮

ワンルームマンションタイプ
(UB・冷暖房完備)

研修等

スキルアップ、認定資格取得、
学会出張への支援あり

お問い合わせは TEL0897-33-1818(代)
十全総合病院 看護部 八木・総務課 矢野まで

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれも遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いたします。 病院長

移動図書館 青い鳥号 来院予定日

9/4水・18水

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

患者さまの権利

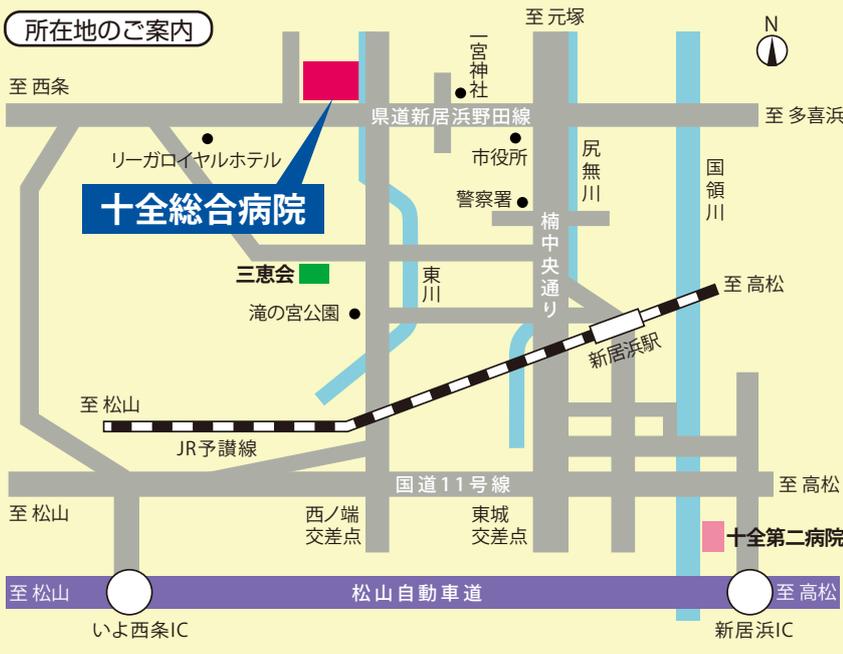
私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。

所在地のご案内



交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス……「十全病院前」下車
- 《JR》JR予讃線……新居浜(にいほま)駅下車、タクシーで約10分



一般財団法人 積善会

十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会



未来が変わる。日本が変わる。
ストップ! 温暖化

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の育成校は【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全第二病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。

●社会福祉法人 三恵会

- 子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を行っています。
- | | |
|----------|---------------|
| 総合福祉施設 | やすらぎの郷 |
| 介護老人福祉施設 | ハートランド三恵 |
| 介護老人保健施設 | リハビリステーション三恵荘 |
| 介護老人保健施設 | 希望の館 |
| 障害者支援施設 | 三恵ホーム |
| 児童福祉施設 | 十全保育園 |
| 総合福祉館 | コミュニティハウス三恵 |
| 福祉館 | 恵海 |
| 児童福祉施設 | 中萩保育園 |
| 養護老人ホーム | 新居浜市立慈光園 |



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。